

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲を中心に、園芸や畜産が盛んな平地農業地域。
- 高齢化の進展により農地の出し手が増えていることから、受け手となる担い手の育成・確保が急務。

【支援内容・背景】

- 定年後も同一企業に再雇用する状況では、定年帰農者の就農が難しく、担い手不足が深刻化するため、中核となる経営体を支援する必要。
- 助成対象者は、地区内で大規模な水稲経営のほか、花きや米粉加工販売、農産物直売所等の複合経営に取り組み、地域の農地を積極的に引き受け、農地集積・集約に大きく貢献。このため、地区における大規模水稲経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(有)川口グリーンセンター」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和44年 清水目機械利用組合設立
- 平成13年 法人化(有限会社)
- 平成16年 ネット販売を開始
- 平成25年 乾燥調製施設(ミニRC)設置
- 平成27年 ほ場管理システム導入
- 平成29年 JGAP認証(穀物)取得
- 令和3年 乾燥機増設
- 令和4年 米の輸出開始
- 令和6年 第53回日本農業賞(個別経営の部)大賞受賞、第63回農林水産祭(多角化経営部門)内閣総理大臣賞受賞

《事業活用の背景》

○ 経営面積の拡大を図るためには、生産性の向上や作業の効率化が必要。水稲の規模拡大、作業の省力化に向けて高性能な乾燥機を増設し、調製作業の効率化を実現。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高	135百万円
○作付面積	70.9ha

《事業による整備内容》

○ 80石乾燥機	2基
事業費	13,860千円
(国費)	3,780千円)

ミニRC(H25設置)

80石乾燥機

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高	202百万円 (150%)
○作付面積	88.0ha (124%)

事業の効果

《対象者》 水稲作業の効率化、省力化が可能となり、経営面積及び売上高の増加、経営全体の安定性が実現。

《地区》 水稲の生産体制強化により担い手への農地集積・集約化が進展。地域農業の維持に寄与。